

- ・対象地域：古平町
- ・古平町人口：4,021人(H17年国勢調査)
- ・漁港：古平漁港(第3種)
- ・漁業就業者：176人(H15年漁業センサス)
- ・漁業経営体：77経営体(H15年漁業センサス)

古平地域マリンビジョン計画

～ つながり・みんなでつづける“古平サクセスストーリー”

平成19年3月策定

拠点漁港のタイプ

衛生管理流通拠点機能

都市漁村交流拠点機能

拠点漁港



古平漁港(第3種)

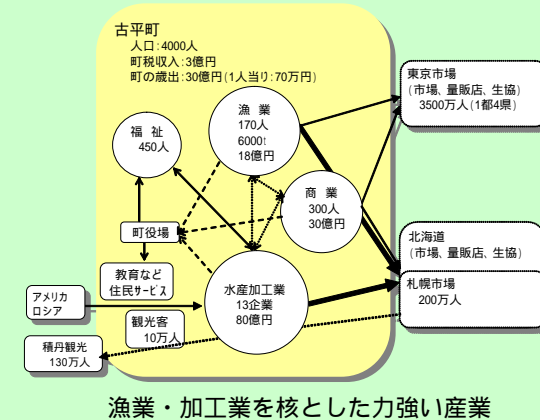


漁業のまちふるびら

地域の資源等

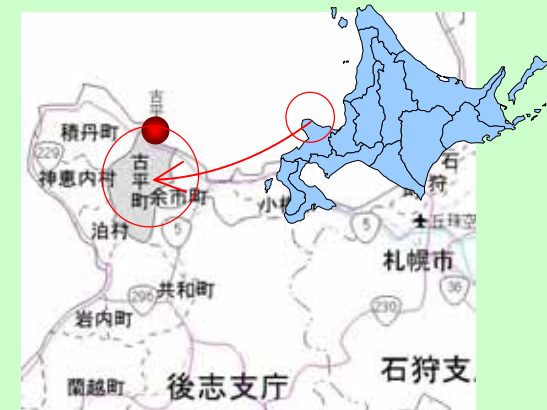


みたら・やったら・くったらフェスティバル



漁業・加工業を核とした力強い産業

【位置図】



現状と課題

現状

- 漁業就業者の減少と高齢化
- 漁業資源の減少
- 荷捌所・製氷施設の老朽化
- 産業分野間の連携(弱いつながり)
- 観光客の単なる通過地点

課題

- 流通の合理化及び衛生管理型施設への転換
- 資源管理とつくり育てる漁業への取組強化
- 町民の漁業、地元産品への理解の促進
- 交流人口の拡大

地域資源(特徴)

- 漁業・加工業のまち：ウニ・エビ・タラコ
- 青空市場
- 共働の家(福祉)
- たらつり節
- みたら・やったら・くったらフェスティバル
- 琴平神社祭
- 古平温泉
- ヒメマス



地域の目指す姿

ビジョンの特徴(理念)

町民は、自らの創意工夫と豊かな資源、町民同士のつながりの基に、前向きに生きていく良き伝統(サクセスストーリー)を守り、「古平」の価値を高めていく。その成果を町民皆で分かち合うことで「みんな勝ち」を目指していく。

水産物の安定供給体制の確保

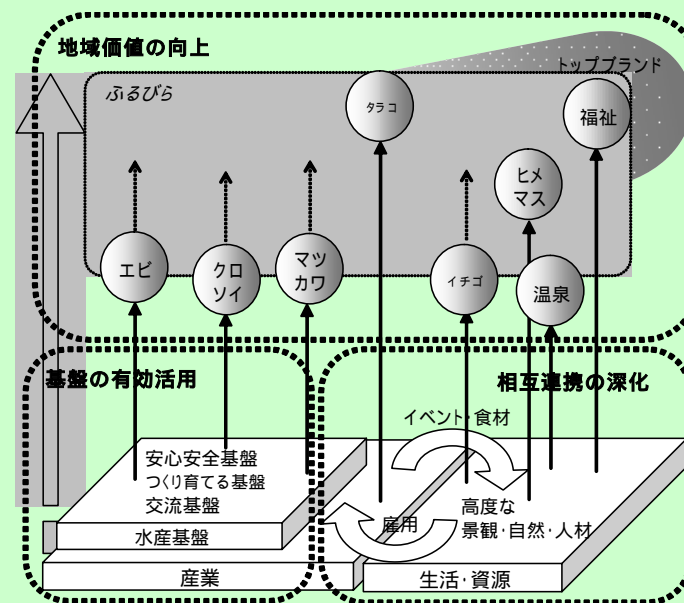
- ブランドを支える生産体制の確立
- 水産加工業における地場漁獲物の活用及び新たな商品開発や販売の拡大

環境保全と循環型社会の構築

- 海の環境や漁業への理解を深める総合学習の推進(植林活動等)
- 資源管理型漁業の推進

水産物供給基盤の確保

- 衛生管理型漁港への転換
- 水産加工業の拠点機能の充実



検討の体制

事務局(古平町)

マリンビジョン協議会

漁業関係者、加工関係者、農業関係者、商工会関係者、観光関係者、町内会代表者、女性団体代表者、異業種交流グループ代表者、行政関係者、行政関係者(オブザーバー)

若者ヒアリング

漁業関係者(青年部・女性部)、水産加工業関係者(青年部)、商工関係者(青年部)、福祉団体関係者、行政関係者(オブザーバー)

推進・フォロー体制

推進体制

- 特産品販売戦略会議
- 衛生管理勉強会
- 古平ブランド認定会議

フローアップ体制

- 古平地域マリンビジョン協議会(進捗確認・評価、検討部会への助言)

漁港の将来像

衛生管理型漁港整備

- 防風雪防護(屋根付岸壁)への機能整備
- 製氷貯氷施設の整備
- 荷捌所の整備

静穏度確保による安全で快適な漁港整備
交流拠点施設整備

ビジョン実現のための主な取組み

漁協、福祉関係者、商工業者等異業種間の連携強化(特産品販売戦略会議)

古平ブランド認定制度の確立

産地市場の統合と合理化の推進

マリンビジョンマップ、町内人材バンクの作成

